聴覚障害者とコンピュータ

講演会のおしらせ

2006.2.18 (土)

主催：埼玉パソコン要約筆記サークル「彩caps」

埼玉パソコン要約筆記サークル「彩caps」では、今年も、学習会を企画しました。
今回は、日本聴覚障害者コンピュータ協会の創立者であり、筑波技術短期大学で長年にわたり聴覚障害者を対象にIT技術の教育・研究活動を続けてこられた長谷川洋氏に、聴覚障害者とコンピュータの関わりや、コンピュータによって、聴覚障害者の生活にどの様な影響を及ぼしたか、また、今後の聴覚障害者にとって、コンピュータがどの様に関わり、変化していくかなど、お話しして頂きます。
是非、お誘い合わせのうえ、お越し下さい。

テーマ　「聴覚障害者とコンピュータ」
講　師　　長谷川　洋　氏
日　程　　平成１８年２月１８日（土）
時　間　　13:30－16:00（受付13:00～）
場　所　　さいたま市下落合公民館ホール
参加費　　無料

※　手話通訳・パソコン要約筆記が付きます。

問合せ　E-mail　sai_caps@yahoo.co.jp
　　FAX　　020-4668-7177

長谷川　洋（はせがわ　ひろし）氏　のプロフィール

［略歴］
24歳のとき（大学院修士課程２年）、風邪をこじらせて突発性難聴で失聴。
17年間、補聴器を読話の補助として使っていた。41歳で完全失聴。失聴後、東大の研究所で25年間セラミックスの研究を続ける。助手、講師を経て、1991年、筑波技術短期大学電子情報学科助教授として赴任。2005年３月定年退官。
日本聴覚障害者コンピュータ協会の創立者であり、筑波技術短期大学で長年にわたり聴覚障害者を対象にIT技術の教育・研究活動を続けてこられ、2005年定年退職する。

［聴障団体での活動］
みみより会の副理事長を経て、1985年に発足した東京都中失・難聴者協会で、副理事長。現在相談役。中途失聴・難聴者に適した手話の研究を行った。
東京都手話通訳派遣協会の運営委員（1973-1989）。
1990年日本聴覚障害者コンピュータ協会を立ち上げ、会長を歴任。現在顧問として、後継者の指導を行ういながらコンピュータ用語の手話の開発を行う。
ろう・難聴教育研究会（旧トータルコミュニケーション研究会）副会長。
ろう教育の明日を考える全国連絡協議会副代表世話人。
電気通信アクセス協議会委員。アクセシビリティ事業委員会委員。
自律移動支援プロジェクト委員。